

編輯室の内外

◇八月號の發行を終り、一息出来る間にと、少し早い九月外遊の途に上られる丹羽本會幹事の送別會を、八月二十日午後から、大森海岸の松濤本店で開いた。數日前からの荒れのため、海が甚だ濁つてゐるので、海水浴もならず浴衣に着換へて扱て坐つて見たが、平生の机の前と聊か勝手が違ひ、ましてちつとして居られる様な殊勝な心掛を編輯室へ置き忘れて、タンクにアルコールを詰めるまでにと、奇藝頻發である。

武勇傳論愚生は、九紋龍魯智深の雛形のやうな圖ウ體を、廣間の眞中に突ツ立つたり寝轉んだりして、講道館では教へて呉れさうもない力持ちをやる。新婚早々だから、あまりイタめては奥様にお氣の毒だと、

氣の利いたのがキャンワリ相手をすれば已惚れて得々としてゐるし、趣向を一變して記憶術をやると言ひ出して、大道で二十錢奮發して覺え込んだ蘆薈を傾けても、適中率五十パーセントの不成績が一同の腹を抱へさせた。辯に曰く「題があまり平凡で工合が悪い」と、以て推して知るべしである。

◇縁に大胡座をかいで聯珠に疝氣を病む一團・さなきだに芳しからぬ顔を持つてゐながら殊更に口を尖らせて巻煙草の吹き倒しぐちをやつてゐる連中あり、思ひ／＼の茶目子そちのけの稚氣ぶりを發揮してゐる所は鳥羽繪によくある圖そのまゝである。

◇夕刻開宴、飲む程に喰ふ程に、晝間良い加減騒いでまだ足らぬか、丹羽幹事を取り巻いて唄ひ、飲み且つ喚く。吉例のヤートコモは論愚氏の獨壇場であり、「一回五錢の均一で……」は小兵衛氏の專賣である。小

兵衛氏の此の唄は曲名不詳仕入れ先亦明かならずと雖も歌曲嬾々(?) 洒々落々、まことに面白い、淺草へ安來節や八木節と競演に出たら何うだと薦めてゐるが、體面に拘るとかで控へてゐるのは惜しい。唄ひ、飲み主客共に十二分の歡を盡して十時歸途に就いたが、その翌日からば又例の如し。此んな飲み會なら毎日でもとみんなが言ひ合つた程面白かつたと思ひ給へ。

◇不順な天候に艱まされたが、バラツクの土臺石の蔭に蟋蟀が啼くやうになつて、埃の都にミソロ／＼秋風が立つのを知る。炎帝襲撃の力が薄らぐに正比例して同人連のヘホ將棋や、笨碁も次第に影を潜め、机に嚙りつき振りがだんだんよくなつて來た。天高馬肥も古いがさて筆硯を清掃しあらためて道路の改良に精進しよう。各位の一層の御健勝を祈つて擱筆する。(十八公)

叙任辭令 (七月分續)

○七月二十五日

熊本縣土木技師兼道路技師手兼道路技師陸軍砲兵伍長 志内 壽親
道路技師兼土木技師二任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル (七月二内閣)
道路技師兼土木技師 志内 壽親
熊本縣道路技師兼土木技師二補ス (七月二内閣)
内務省

○七月三十一日

山口縣道路技師手兼土木技師從七位勲八等 杉山 毅夫
道路技師兼土木技師二任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
土木技師二任ス 山田 長好
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
埼玉縣道路技師手兼土木技師二任ス 矢島 德寶
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
依願免本官 (以上七月三内閣)
地方技師 山本 敏
道路技師兼土木技師 杉山 毅夫
山口縣道路技師兼土木技師二補ス 山田 長好
栃木縣土木技師二補ス 山田 長好
土木技師兼道路技師 矢島 德寶

叙任辭令

埼玉縣土木技師兼道路技師二補ス (以上七月三内務省)
道路主事 丹羽 氏行
八級俸下賜 (七月三日京都府)
土木技師兼道路技師 矢島 德寶
十級俸下賜 (七月三日埼玉縣)
埼玉縣
八月二分

○八月二十一日

土木事務官 梶尾繁次郎
陸叙高等官六等
道路技師兼土木技師 平川 保一
土木技師兼道路技師 榊井 照藏
土木技師 宇都 武熊
陸シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル
道路主事 高澤 義智
折田 剛
谷 三橋竹次郎
松居 榮二
藤千代太郎
藤本 德三郎
陸シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル
道路主事 藤森 安正
同 小田 一
同 吉田 又藏
同 古賀 重夫
陸シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル
道路技師 河原常次郎
願ニ依リ本職ヲ免ス (以上八月二内閣)
道路技師 田原 秀男

○八月二十四日

長崎縣道路技師二補ス (八月二内務省)
道路技師 田原 秀男
十級俸下賜 (八月二日長崎縣)
兵庫縣土木技師兼道路技師手兼 名井 光藏
兵庫縣土木技師二任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
兵庫縣道路技師手兼 山田 北男
土木技師兼道路技師二任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
地方技師 權平悌三郎
依願免本官
道路技師兼土木技師 木村 融
土木技師兼道路技師二任ス (以上八月二内閣)
土木技師兼道路技師 山田 北男
兵庫縣土木技師兼道路技師二補ス 名井 光藏
兵庫縣道路技師兼土木技師二補ス 木村 融
兵庫縣土木技師兼道路技師二補ス
群馬縣土木技師兼道路技師二補ス
以上八月二内務省
土木技師兼道路技師 山田 北男
九級俸下賜
道路技師兼土木技師 名井 光藏
十級俸下賜 (以上八月二日兵庫縣)
土木技師 木村 融
十一級俸下賜 (八月二日群馬縣)